

企画展

品川歴史館 30年のあゆみ ―品川は歴史の宝庫―

期 間 平成 28 年 2 月 6 日 (土) ～3 月 21 日 (月・祝) 39 日間
会 場 1 階ロビー 第二展示室 小講堂
入館者数 2,037 名

〔開催趣旨〕

平成 27 年 (2015) は、品川歴史館が開館から 30 周年を迎えた記念すべき年であった。『品川区史』(昭和 46 年 (1971) ～) を編さんする過程で収集した資料を保存・活用し、区民文化の向上を図る施設としての資料館開設が企図されたのは、昭和 53 年 (1978) 4 月の品川区長期計画 (素案) に「(仮称) 品川区郷土資料館構想」が組み込まれたことを端緒とする。その後、旧吉田秀雄記念館を取得し、昭和 60 年 (1985) に同敷地内に品川区立品川歴史館が誕生することとなる。品川歴史館は、開館から現在に至るまで様々な展示を開催し、数多くの資料を収集してきた。企画展では、館蔵資料や過去の展示内容から品川歴史館のあゆみを振り返り、その成り立ちを総覧する展示を行った。



〔展示概要〕

1. 歴史館誕生前夜
2. 歴史館建設中に遺跡発見
3. 歴史館誕生そして現在
4. 資・史料の整理と保管
5. 歴史館が所蔵する指定文化財の数々